

# JLEM News Letter Vol.41



## 第46回日本語教育方法研究会開催

発表 47 件 参加者 119 名

第47回は日本学生支援機構東京日本語教育センターにて

2016年3月19日(土)、第46回日本語教育方法研究会が国際交流基金日本語国際センター(さいたま市)で開催されました。久保田先生、そして国際交流基金日本語国際センターの先生方や学生の皆さま、大変お世話になりました。

前日3月18日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第47回研究会は2016年9月24日に日本学生支援機構東京日本語教育センター(東京都新宿区)において開かれます。会則の改訂に伴い、再度関東地区での開催となります。みなさまふるってご参加ください。

### 開催を終えて

久保田美子

(国際交流基金日本語国際センター)

第46回日本語教育方法研究会は、2016年3月19日(土)に国際交流基金日本語国際センターで開催されました。全国各地から多くの方にお集まりいただき、誠にありがとうございました。当日は、47件の発表があり、どのご発表も各教育現場の

ニーズや課題に根差したもので、とても意義深く、そして刺激的な内容でした。それぞれのポスターの前では熱のこもったご説明と活気あふれるやりとりが展開され、とても充実した時間であったように思います。また、昼休みに行われた昼食交流会も盛況で、世代を超えて様々な教育現場で実践を行っている先生方が活発に交流を行っている姿が見られました。当センターの講師や研修参加者にとっても非常に意義のある研究会であったと思います。開催にあたっては、衣川さん、小河原さんを始め、運営委員の皆さまには本当にお世話になりました。今後もますます実り多い研究会となりますことを心よりお祈り申し上げます。

### 次回開催にあたって

平山允子

(日本学生支援機構  
東京日本語教育センター)

第47回JLEMは、9月24日(土)に日本学生支援機構東京日本語教育センターで開催されることになりました。当センターは、国際学友会日本語学校として長く留学生への日本

語教育を行ってまいりました。2004年には日本学生支援機構東京日本語教育センターとして新たなスタートを切り、現在までに日本の高等教育機関への進学を志望する留学生を世界各国から多数受け入れ、日本語および基礎科目の教育を行ってきております。進学予備教育機関として何をどう学ぶ場を学生たちに提供したらいいのか、教員たちは常によりよい教育実践を模索しながら教室に立っています。次回の研究会でも、ご参加者のみなさまと日々の教育実践について機関を越えて情報を共有し、熱い議論を交わせることを楽しみにしております。当センターは、北新宿という便利な場所にあります。ぜひ多くの教育機関からたくさんの先生方にご参加いただければ幸いです。次回のJLEMもみなさまにとって有意義な研究会になりますように、心より願っております。

## 第7回JLEM優秀賞

第46回研究会において、優秀賞選考委員5名の討議により、以下の研究が「優秀賞」及び「奨励賞」の授与対象として選ばれました。

「優秀賞」押尾和美・長坂水晶(国際交流基金日本語国際センター)

「相互理解のためのやりとり能力育成を目指した授業実践―聞き手の働きかけに着目した試み―」

「奨励賞」山田野絵(筑波大学)「自らの日本語世界を広げる辞書作りを通じた語彙学習の試み—中上級日本語学習者を対象として—」

「優秀賞」の押尾・長坂氏の研究は、従来十分に焦点が当てられていなかった「相互理解における聞くこと」を中心とした一連のコースの報告です。課題の設定から、授業デザイン・検証までの流れの一貫性や、視点の独自性が高く評価されました。

「奨励賞」の山田氏は、中上級学習者にオリジナルの辞書を作らせる授業という大変チャレンジングな試みを行っています。効果の検証や、作成した辞書を生かした授業展開などの課題もありますが、その分発展の可能性も秘めており、「奨励賞」に値すると判断されました。

受賞者のポスターは本会の HP に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

(俵山雄司)

## 運営委員会報告

運営委員会は、研究会の前日の3月18日(金)に国際交流基金日本語国際センターにおいて開かれました。今回10名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは委任状が提出されました。今回の運営委員会で話し合われたことのうち、重要な点について、以下にご報告いたします。

### ○会員数

2016年3月17日現在の会員数は652名(国内633名、海外19名)になり、初めて600名を越えました。2013年に会員数500名を越えてから3年

間で100名以上の方に入会いただいたこととなります。

### ○運営委員の異動

2016年3月末で1期目(2年)の任期が終了する会長(衣川)、事務局(小河原)が引き続き2018年3月までの2期目も継続することが承認されました。また、2015年4月からの運営委員の体制も異動がないことが報告されました。

### ○会員管理システムの修正について

2015年10月よりWeb上で住所変更手続きや会費納入の確認ができる会員管理システムの運用を始めました。今後は、これらの更新、確認の手続きは会員の皆様もできるようになりましたので、ぜひ、ご協力お願いいたします。また、このシステムを使って今回初めて研究会準備を行いました。その結果、いくつか修正しなければならない点も見つかりましたので、次回の研究会準備までには、それらの点を修正することが承認されました。

(衣川隆生)

## 事務局よりご連絡

### ○会員管理システム導入に伴う登録情報の確認

昨年度2015年10月にweb上で

の会員管理システム

[<https://secure.jlem-sg.org/>](https://secure.jlem-sg.org/)が導入されました。会員管理システム公開に伴い、今まで郵送しておりましたニューズレター、発表申込案内、研究会プログラムなどの印刷物の発送は停止しております。皆様のお手元に届くのは会誌

のみとなります。今後は、みなさまの登録e-mailアドレスへ、[<jlem-ml@jlem-sg.org>](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)からお知らせを届けます。

[<jlem-ml@jlem-sg.org>](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)が迷惑メールとにならないよう、ご指定をお願いします。e-mailアドレスを変更する場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。

ご不明な点などありましたら、[<jlem-ml@jlem-sg.org>](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)までお問い合わせください。

### ○住所変更

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を送ります。住所変更があった場合は、会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。ログイン情報がわからない場合は、ログインアシスタントからログイン情報の確認及び再設定を行なってください。

(小河原義朗)

## その他ご連絡

### ○当日入会について

下記の方は、46回研究会で当日入会をされた方ですが、入会手続きが済んでいませんので、もしお知り合いの方がいらっしゃいましたら、恐れ入りますが、入会申し込み

(<https://secure.jlem-sg.org/join>)より手続きをしていただければ幸いです。

神元愛美子(敬称略, 5月16日現在)

### ○会費納入について

会費をお振り込みいただいた方で、以下の方のお名前が会員名簿で確認できておりません。お心当たりの方

は、「お問い合わせ」  
(<https://secure.jlem-sg.org/contact>)よりお知らせください。

2016年5月10日付3000円振込み  
「ZHAO LI」の方  
(長谷川守寿)

#### ○J-Stageについての経過報告

JLEMでは、これまでCiNiiで研究会誌を公開していましたが、電子図書館事業の終了に伴い、J-Stageでの公開準備を進めてきました。2016年9月発行予定の次号からはJ-Stageで公開する予定です。まず

は2016年秋に次号の書誌情報のみがJ-Stageで公開され、研究会誌発行の1年後から全文アクセスが可能になります。また、CiNiiで公開されている過去の研究会誌のデータは2016年秋以降、J-Stageへ移行される予定です。

(寺嶋弘道)

### 編集委員よりご連絡

○発表者が複数の場合は、応募後の連絡等はすべて筆頭者が行うようにお願いいたします。何らかの理由で、

筆頭者が連絡できない場合は、必ずその旨をお伝えください。

○会誌原稿の締切日を過ぎて原稿提出がない場合は、発表を辞退したものとみなしますので、期限厳守でお願いいたします。

(中井陽子)

日本語教育方法研究会  
問い合わせ先：[jlem-ml@jlem-sg.org](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)  
(レター編集：本郷智子)